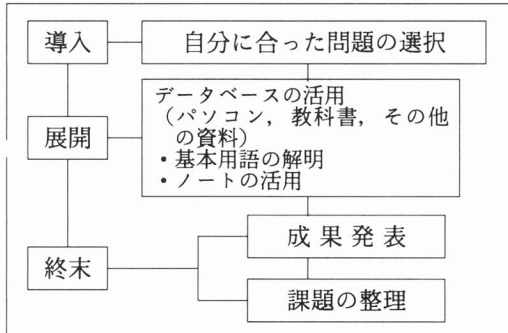
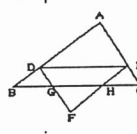


2. 生徒に、主体的に課題を選択させ、自主的に追求させることにより、学ぶことの楽しさを味わわせ、数学に対する興味・関心の高揚を図る。
3. コンピュータの利用によって、情報を主体的に活用する力を養う。

⑤展開の概要



⑥学習指導過程

段階	学習活動内容	学習のねらい	
導入	1. 課題把握 課題  左の図において、 $BC \parallel DE$, $AB \parallel EF$, $AC \parallel DF$ である。 次の課題の中から選択し、解決しよう。 (1) 等しい角をすべてみつける。 (2) 合同な三角形を見つけ、その合同条件を示す。 (3) 相似な三角形を見つけ、その相似条件を示す。 (4) $AD : DB = 3 : 1$ のとき、 $DE : GH$ の比を求めよ。 (5) $AD : DB = 3 : 1$ のとき、相似な三角形の相似比を求めよ。	・課題 ・課題 ・生 うに ◇課題 把握	
	2. 課題選択 ・自分で選択する。 (1) 基本用語の確認 基本用語 (キーワード) 対頂角 同位角 錯角 三角形の合同条件 三角形の相似条件 相似比 平行線と線分の比	主体性の育成	・基本 ・課題 ・生 とで、生 る。ま
展開	3. 課題追求 (1) 基本用語の解明 (2) 課題追求 ・パソコンの利用 (データベースの検索)	基礎・基本の定着 主体性の育成 興味関心の高揚 情報活用能力の育成	・パソ ・個別 追求を ◇パソ
	4. 課題解決 (1) 結果をまとめる。 (2) 結果を相互評価する。 5. まとめ (1) 自己評価をする。	学習意欲の高揚 学ぶことの楽しさ 主体性の育成	・一人 ◇自分 か。 ・課題 追求 させ

5. まとめと今後の課題

平成2年度は、基礎研究の段階であった。ワープロソフトでデータベースの作成を行い、課題を設定し、「課題学習」の授業を設計した。1年次は、次のようなことが分かった。

(1) データベースの活用では、自作、他作を問わず、既存のものを利用していくことも有効である。学習内容の目標分析、データ画面の設計、図形の作成、文書への組み込み等で、データベースの作成には、多くの時間がかかった。

(2) 操作が容易で、より細かな条件によって検索できるソフトの開発・発掘が必要である。身近なワープロソフトを利用して

データベースを作成したが、手軽に作成できる反面、データベースソフトとしては処理速度が遅く、検索能力も十分でない。検索機能は全ファイル検索で、画面の文書中に該当の文字列があれば、それを含むファイルを全て検索するという単純なものである。

(3) コンピュータのデータベース的な活用に関する研究と各種ソフトの製作が必要である。2年次は、いくつかのソフトをまとめ、メニューによって必要なソフトを選択できるような「ソフトのデータベース」を製作したい。